

当園の令和6年度「学校関係者評価」について報告いたします。

令和6年度 学校関係者評価（第1回）

<日時> 令和6年10月28日（月）10：30～13：00

<場所> 当園 図書室

<出席者> 元小学校長 町会長 評議員 大学助教 PTA会長 園長 教頭 計7名

<欠席者> なし

<内容> 10：30～

- ①園長より挨拶 ②出席者自己紹介 ③資料説明 ④公開保育参観
- ⑤チェックシートの記入 ⑥意見交換・講評など ⑦給食の試食

<保育を含む園全般のことについての意見交換など>

○公開保育について

- ・3歳児でも話を聞くことができていることに、感動した。どのクラスも子ども達が教師の話をしっかりと聞いていて楽しそうにしていた。また、教師が子ども達の話聞きながらも全体の様子をよく見て対応していた。
- ・年長組で作品を作っていたが、主体的な学びが感じられた。子ども同士で話し合ったり、図鑑を見たりと生きた学びがあった。
- ・教師も楽しみながら活動に参加しているところが良かった。また、泣いている子に対して教師が素早く対応している場面が見られていた。そのような動き方が大事である。
- ・グループになって活動をしていたクラスがあったが、どのようにグループ分けをしているのか？いろいろなタイプの友だちと接することも大事である。

（園長より）→ 体育指導でグループ毎に活動をすることが多いので、年中組になった時点で担任がグループを決めている。その際は、子ども達一人ひとりが互いに良い影響が受けられるようなグループ作りをしている。

○園内の環境について

- ・生き物を飼っているが、自然界にいる時はすでに冬越しに入ると思うのだが、どのようにしているのか。
- （園長より）→ かたつむりはケースに落ち葉を入れて冬越しをさせるが、その他の生き物については、園内は外より気温が高いこともあり、年中同じ状態で飼い、子ども達が常に様子を見られるようにしている。
- ・2階の廊下にあるキーボードのアダプターの線が巻かれずにそのまま置いてあった。安全のために、きちんと巻いておいた方が良くはないか。

○園生活について

- ・はさみの使い方やハンカチのたたみ方、トラブルの対応の仕方など、園で教わってきている。保護者に対しても、柔軟な対応の仕方（臨機応変さがあって）良いと思う。

○地域との連携について

- ・地域との連携として、読み聞かせや、一緒に遊ぶ、もちつきなど、できるところから行ってはどうか。

- ・園の行事を町会の方にも開放してはどうか。
- ・ゲームなど様々な活動で幼稚園同士の行き来があればおもしろいのではないか。

○その他

- ・園長から新制度園になった旨の話があったが、詳細について知りたい。
- ・給食については、薄味でおいしかった。

令和6年度 学校関係者評価（第2回）

<日時> 令和7年2月28日（金）10：30～12：50

<場所> 当園 図書室

<出席者> 元小学校長 町会長 評議員 大学助教 PTA会長 園長 教頭 計7名

<欠席者> なし

<内容> 10：30～

- ①園長より挨拶 ②資料説明 ③公開保育参観 ④チェックシートの記入
- ⑤意見交換・講評など ⑥幼稚園評価・自己評価の結果報告 ⑦給食の試食

<保育を含む園全般のことについての意見交換など>

○公開保育について

- ・年長組が行っていたペープサートなどを使った創作劇は総合的な力が必要で、これまで培われた幼稚園教育の集大成だったと思う。協働的な学びの姿を見ることができた。
- ・教師と子ども達が皆元気で、明るい雰囲気になりあふれていた。
- ・子ども達が興味をもって楽しめる活動内容で、季節感を取り入れたり、クイズやゲームがあったりと随所に工夫が凝らされていた。
- ・年長組は保育参観日であったが、保護者も一緒に楽しめる活動内容で良かった。
- ・どの学年も子ども達の成長が感じられた。
- ・危険な行動をしている子には、教師が怒るのではなく、してはいけない理由をきちんと説明している姿が見られていた。
- ・幼稚園児の方が小学生より教師の話に興味をもって聞いているように感じた。

○幼稚園評価・自己評価について

幼稚園評価

- ・全体としてきめ細やかな評価がされていると思う。保護者アンケートにも丁寧に応えており、誠実に園運営を行っているとともに、保護者との信頼関係が良く保たれていると感じた。保護者からの要望に対し、すぐに改善できないことも多いと思うが、前向きな姿勢が良いと思う。
- ・回答率が89.9%と高く、保護者の方の関心の高さに驚いた。
- ・小、中学校の評価は辛らつなものが多く、学校側が謝罪するような形のものが多いが、幼稚園の保護者は、しっかりと園のことを考え、教師への感謝の気持ちも温かく、その関係性が良いと思った。
- ・幼稚園評価は、保護者の考えを園に伝える機会となり、また、園からの報告書を見ることで自分以外の保護者の考えを知ることができるので良いと思う。

自己評価

- ・教師が自分自身に厳しすぎる評価をしていると、保護者としては逆に心配になってしまう。また、いつまでも自己評価が低いのであれば、保護者からの信頼を得られにくくなるのが心配であ

る。

- ・数値化することの基準が曖昧なので、難しいところがあると思うが、先生方にはもっと自信をもって欲しい。
- ・各教員の自己評価に対して、他の教員からのアドバイスがあれば次年度に活かせるのではないか。
- ・自己評価を低くして、それに甘んじることのないように周囲の支援が重要になるのではないか。
- ・園内研修の自己評価表（チェックシート）に、教師それぞれの頑張りを認めてあげる欄があれば良いのではないか。

○その他

- ・現代の子ども達は、絵本だけでなく、テレビも見なくなったので、「ももたろう」の話を知らない子もいる。物語の中にある教訓など、大切なメッセージを知らないまま育つ子も多い。
- ・子ども達の服装が、動きやすさより見た目重視の華美なものを身に着ける子が多くなっている。パーカーなど、遊んでいる時に安全面で心配な物も見受けられる。

○課題として

- ・学校関係者評価チェックシートは、4項目の自由記述となっているが、具体的な項目があればチェックがしやすく、課題等も見えやすくなると思う。
- ・幼小の連携が重要視されているので、連携を求める姿勢は持ち続けた方が良い。
- ・日々の保育を行いながらの研究活動は教員の負担も大きく大変かと思う。研究ができるような配慮が園としてあれば向かいやすいのではないか。
- ・次年度の学校関係者評価委員会は、3回の開催とし、1回目にその年度の評価計画などを伝え、2～3回目で評価をしてもらう流れで行ってはどうか。

○給食について

- ・献立が工夫されている。また、献立表は、カロリーや栄養についても記載があり、たくさんの情報があって見応えがある。給食だより等も楽しみである。
- ・塩分を控えたメニューでおいしかった。
- ・入園の時期は給食に慣れるよう具材を小さめに、慣れてきたらかむ力をつけるために大きめに切るなど、時期によって具材の切り方を工夫しているところが良い。
- ・物価高騰により、給食費の値上げは仕方がないことと思う。やりくりが大変だと思うので、相応の値上げについては保護者に理解してもらう必要がある。